

VERMEC

究極の深い穴掘りツールセット 取扱説明書 (WTT-050)

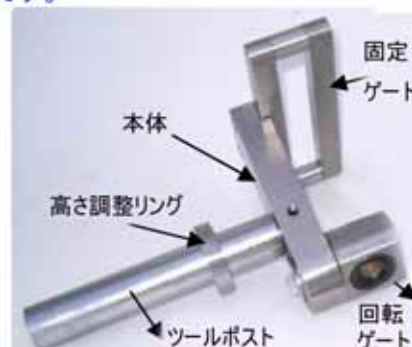


究極の穴掘りツールは、瘤材のような乾いていて硬い木から、濡れた柔らかい木まで、簡単に穴掘りが出来るよう設計されています。主な特徴は、詰ませたり深く入ったりしないで、安全かつ簡単に350mmの穴を掘ることが出来ます。ツールセットにはハンドル、補助ハンドル、主シャフト、2つのカッターヘッド、それにツールの支持台が付きます。このツールは頑丈な旋盤で使うことをお勧めします。

注意: どのような道具も危険なものです。使用者は怪我をしないよう十分注意して下さい。購入者は購入したものが自分の使用目的に合っているかどうか確認する責任があります。

ツールの支持台: 安全で効率の良い作業をする為、ツールの支持台は重要な部品です。

通常のツールレストの代わりとして使い、ポストに高さ調整の輪が付いています。後ろに固定のゲートがあり、前には2つのボールベアリングで支持された、回転する軸受けがあります。前の軸受にはゴミの侵入を防ぐシールがなされています。



ハンドル: ハンドルは高級な仕上げのステンレスを使っています。鉛の玉を挿入することでバランスを取ることと振動を抑えています。硬くてショックを吸収するゴムのカバーが付いています。12mmの穴が開いており殆どのP&Nのツールを取り付けることが出来ます。



ハンドル

補助ハンドル: 主シャフトの前端に取り付けることが出来ます。ステンレススチールで出来ており、ゴムのカバーが付いています。このハンドルを取り付けても刃先の角度を自由に変えることが出来ます。



補助ハンドル

主シャフト: 22mmの直径で高張力鋼で出来ています。シャフトは、カッターヘッド

を取り付けた状態で、350mmの深さまで対応する十分な長さです。主シャフトから止雄ねじが飛び出ているとツールの支持台に挿入する時に、傷が付くので止雄ねじがシャフトの表面から引っ込んでいることを確認してください。

重要: 使用後は錆びないように油を塗って下さい。



主シャフト

カッターヘッド:

2つのカッターヘッドがあります。

* 直径10mmのタングステンカーバイド(TC)の刃が付いた、荒挽き用のもの。くり抜き用としてシャフトが曲がっています。**注意: TCカッターの刃はもろいので、落としたり、ゲイトにぶついたりすると、簡単に割れるので取扱いには注意して下さい。**

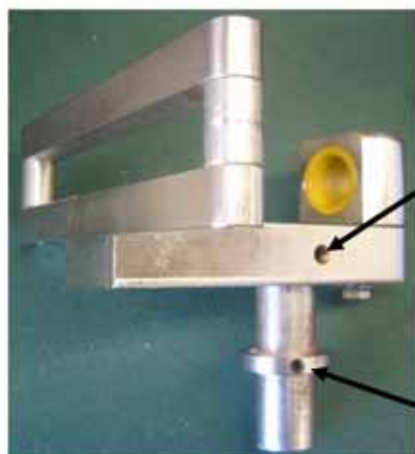


荒挽き用10mmTCカッター

* シアーカットでツールマークを取り除く直径25mm(HSS)の仕上げ用スクライパーです。両方のツールは安全のため12度の角度を、下向きに付けてあります。



仕上げ用25mmシアースクライパー



使用準備:

ツールポストを本体にねじ込みます。完全に入ったことを確認します。

ツールポストを押さえる止雄ねじを締めつけます。

主シャフトを後ろのゲイトから差し、前の軸受けに通します。それから10mmのTCカッターを取り付けます。ツールポストの高さを上げたり下げたりして、TCカッターの刃の高さ位置が旋盤の軸の高さになるようにします。主軸にドライブセンターを取り付けてその先に合わせると、正確に出来ます。

刃の位置が出たら、高さ調整のリングの止雄ねじを締めつけます。リングを固定することで、同じ旋盤を使う場合、2回目以降の高さ調整が不要になります。

重要: ツールの支持台のポストをしっかりロックして下さい。



使い方:

壺はチャックでくわえて外側を挽いて下さい。中心にドリルで必要な深さの穴をあけて下さい。ツールセットに10mmのTCカッターを取り付けて、穴掘りを開始します。壺の口の所からドリルの穴に沿って進めていきます。

重要: カッターの刃は常に30度から45度に傾けて使って下さい。

中心から外側に向かって希望の壁の厚みになるよう削って下さい。補助ハンドルはカッターの刃と同じ角度になるように、固定して下さい。刃先が見えない時は補助ハンドルの角度で、刃先の角度が分かります。

決して刃が水平より上になるようにしないでください。削る量のコントロールはシャフトの回転で行います。刃を下げると削り取る量は減ります。



カッターは常に30度から45度傾けて下さい



別の使い方:

もし長いベッドの旋盤を使っている場合は、別のツールの使い方があります。削っているところを確認するため、体をねじる必要がありますが、ツールを逆に使うことで楽に作業が出来るようになります。ツールのゲートはツールが上下しないよう制限できるので、旋盤の回転方向を正回転のまま、壺の右側を削ることが出来ます。カッターの刃の上下を反転して水平にして、左側に補助ハンドルを取り付けます。これで壺の左側を挽くのと同じように、右側を挽くことが出来ます。削る量を減らす場合は補助ハンドルを低くします。



壺の右側を挽く場合

仕上げ:

壁の厚みが希望のものに近づいたら10mmのTCカッターを取り外して、25mmのシアースクライパーを取り付けます。壺の底の中心から外側に向かって30度から45度の角度でシアークットをします。壺の壁も続けてツールの角度を保ちながらカットします。



25mmの仕上げ用シアースクライパー

写真は刃先が見えるよう半割になっています

Information on Vermec products is available at:

www.vermec.com

VERMEC

39 Dalton Street
Kippa-Ring Queensland 4021
AUSTRALIA

Phone: 07 3284 3733 Overseas Phone: +61 7 3284 3733

Fax: 07 3284 2733 Overseas Fax: +61 7 3284 2733

Email: vermec@netspace.net.au

Web: www.vermec.com